

HORUGEL

チャリティーコンサート 被爆ピアノの平和の音色

日時：2012年

途中コーヒープレイク有り

1月21日(土) 開演 14:00

会場：賀川記念館 ((4F)) メモリアルホール

料金：1000円

ピアノの発達と大作曲家 ～バッハからシューベルトまで～

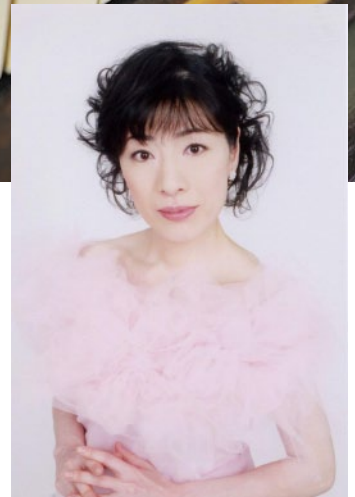
第1部 チェンバロとクラヴィコードの時代、ピアノの出現

J.S. バッハ (1685～1750) 平均率クラヴィア曲集第1巻 24のプレリュードとフーガ
第1番 プレリュードハ長調 BWV.846
第2番 フーガハ短調 BWV.847

ハイドン (1732～1809) ソナタ 二長調 Hob.XVI. 37 第1楽章
モーツァルト (1756～1791) ソナタ 二長調 K.311 第2楽章
トルコ行進曲 ソナタ イ長調 K.331 第3楽章

第2部 ピアノの発達と普及

ベートーヴェン (1770～1827) ソナタ第8番ハ短調【悲愴】 Op.13 第1楽章
シューベルト (1797～1828) 即興曲 変イ長調 Op.90-4
ウェーバー (1786～1826) 舞踏への勧誘 Op. 65



Piano
山路洋子

京都市生まれ。同志社大学文学部西洋史専攻卒業後、大手信託銀行に入社。7歳よりピアノを始め、渋谷ヒロ子、中野螢子、頭土禮子の各氏に師事。1992年、京都ピアノコンクールに入賞。信託銀行退職後、1995～97年度ハンガリー政府給費留学生としてブダペストに渡り、国立フランツ・リスト音楽院にて音楽史の研究員となる。同時に、ピアノ科教授ゼンブレニ・コルネール氏、ヴァルヤシュ・アンナ氏のもとでピアノの研鑽を積む。その後ピアノ科にてハルギタイ・イムレ氏に師事。リスト音楽院院内コンサート、在ハンガリー日本大使館主催コンサート等に出演の他、在ブダペストロシア文化センターにて2度リサイタルを開催。

2004年に帰国後は、関西を中心に博物館、学校、病院等、幅広く演奏活動を行う。2010年より、日本基督教団神戸イエス団教会オルガニスト。

被爆ピアノの平和の音色